

フンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山の噴火による 潮位変化を受けた検討課題について

令和4年1月15日に発生した、フンガ・トンガーフンガ・ハアパイ火山の噴火による潮位変化に関する気象庁の情報発信において、主に

- ・観測された潮位変化のメカニズム等が明らかでなかったため、津波警報等の発表までに時間を要した
- ・噴火発生から津波警報等の発表までの間の情報発信が不十分だった

といった課題があった。

【本勉強会における検討課題】

- 今回の潮位変化は、通常の地震による津波と比べ2時間以上早く到達したが、そのメカニズムはどういったものであったか。
- 噴火の規模と気圧変化や潮位変化に関係はあるのか。
- 火山噴火に伴う様々な現象と潮位変化に関する既存研究の整理。
等

検討スケジュール

2月14日 第19回勉強会

- ・観測結果の整理、潮位変化に関する知見の整理

3月中 第20回勉強会

- ・分析・調査結果の整理、とりまとめ

【火山噴火等に伴う潮位変化に対する情報発信のあり方を議論するための検討会(仮称)における検討課題】

- メカニズム等の分析を踏まえた火山噴火等に伴う潮位変化に対する情報発信のあり方

これらの会議においては、調査・研究や監視・評価に資する技術開発等、中長期的に取り組むべき課題への対応方針も議論する。